

# 駆け付け給油に関して 使用が想定される機器について

# ロック機能について

## ○ノズルの施錠

- ・ノズルの施錠については、現在普及している計量機には、フルスタンドの計量機であっても、セルフの計量機であっても、標準装備として、鍵による施錠機能が備えられている。
- ・30年以上前の機器の場合は、施錠機能の標準装備がないものも考えられるが、鎖及び南京錠の後付けによるロックで対応が可能である。

(例)



プッシュ錠タイプ



カム錠タイプ

## ○計量機の主電源OFF

- ・計量機の主電源を切ることにより、ポンプ自体を稼働不可とする。
- ・主電源は、通常、事務所に設置されている。
- ・POSカードシステムと連動させている場合は、計量機の主電源を入れてからポンプが稼働可能な状態になるまで、数分かかる。

※主電源ON時(スタンバイ状態)であっても、OFF時であっても、ポンプ、ホース等の内部は常に燃料が充填された状態である。

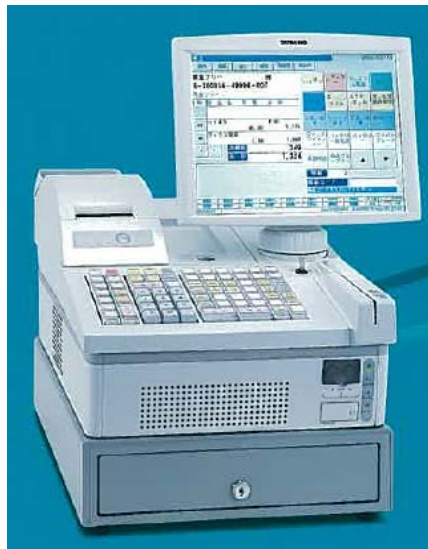
# ロック機能について

## OPOSカードシステム

- ・計量機と連動しており、カード読み込みにより初めてポンプの稼働が可能となり、給油が終了し、ノズルを戻すと、ポンプ稼働許可がリセットされる。

(例)

レジ型POSカードシステム



- ・事務所内設置を想定。後付けするには、計量機との連動のための配線を計量機から事務所まで地下敷設する。
- ・機器本体価格 100～150万円程度。
- ・工事費 50万円程度。

ポータブルPOSカードシステム



- ・通常、計量機の隣に設置され、計量機まで配線を地下敷設する。
- ・機器本体価格 100万円程度
- ・工事費 50万円程度。

# インターホン機能、監視機能等について

(現行の計量機附帯機器の活用)

## ○計量機のコントロールユニット

- ・セルフサービス用計量機には、コントロールユニットが内蔵されていることが一般的であり、液晶表示、音声通知、人感センサー、インターホン等の機能が利用できる。

## ○フルサービス計量機への コントロールユニットの活用

### ■コントロールユニット盤の後付け

- ・後付け設置は、計量機のフレーム等構造上の障害があり、工事が困難。

### ■現行利用されている個々の機能の後付け

#### <インターホン機能>

- ・計量機と事務所間で双方向通信を行う目的で、インターホン機器が設置される。
- ・通信のための配線は、事務所等まで地下敷設する。
- ・価格は、ホースの本数に依存し、工事費込みで、100万～300万円程度。

#### <音声通知機能>

- ・ノズルを上げると、設置されたスピーカーから油種名を音声通知し、注意喚起する。
- ・計量機内に基盤を設置し、計量機と連動させる。



# インターホン機能、監視機能等について

## (一般機器の活用)

### ○インターホン機器

- ・一般住宅向け、業務用で使用されているもの等の活用が考えられる。
- ・専用線で有線のもののが大半である。(配線距離は、50m～100m)
- ・有線には専用線、電話回線、IP回線(VPN)がある。
- ・専用線は施工(地下埋設等)が必要であり、架空配線は想定されていない。
- ・専用線以外の電話回線、IP回線の場合、維持費が必要である。
- ・一般住宅向けでは無線タイプのものも存在するが、屋内での利用を想定している。

### ○監視カメラ

- ・専用の防犯カメラ、インターホン設備に接続するセンサーカメラ、インターホン子機に内蔵されたカメラ等の活用が考えられる。

### ○人感センサー

- ・人感センサーにより点灯点滅するセンサーライトや音声による報知機能を有するもの。
- ・インターホンに連動する人感センサー付カメラ(センサーカメラ)もある。

### ○車両検知センサー

- ・光電式、超音波式等様々な種類のものがある。

### ○看板等

(例)カメラ玄関子機



(例)インターホン用  
センサーカメラ

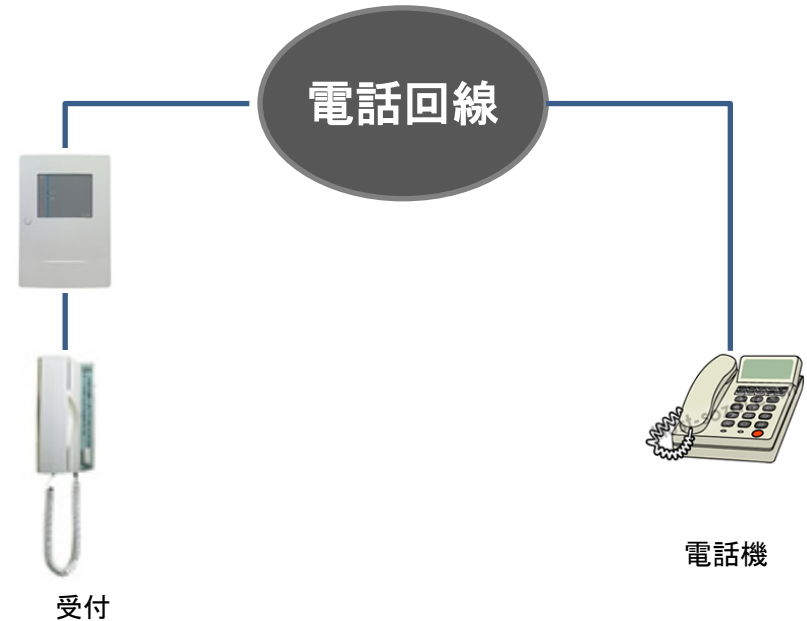


# 一般的なインターホン機器の例について

## ○住宅用インターホン



## ○電話回線利用インターホン(オートホン)



## ○IPインターホン

